

受益者の皆様へ

三井住友アセットマネジメント株式会社

弊社ファンド10月24日基準価額の下落について
(基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 10 月 24 日、一部弊社ファンドの基準価額が前日比 5%超下落しました。以下に、ファンド状況と基準価額の下落要因のご報告をいたします。

基準価額前日比 5%超下落ファンド名とその状況 (平成 20 年 10 月 24 日現在)

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	下落率 (%)
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 11 - 105	4,523	-606	-11.82%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 3	3,877	-479	-11.00%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 1 - 65	4,111	-495	-10.75%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06 - 09	4,277	-514	-10.73%
条件付元本確保型収益分配ファンド2006 - 9	4,446	-526	-10.58%
三井住友・ス・パ・アクティブ・オ・ブン	1,788	-210	-10.51%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 08	4,197	-491	-10.47%
三井住友・株価指数参照ファンド'06 - 09	4,544	-505	-10.00%
三井住友・株価指数参照ファンド'07 - 08	4,474	-491	-9.89%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 7 - 65	4,032	-442	-9.88%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06 - 12	4,406	-481	-9.84%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 11 - 100	4,602	-499	-9.78%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 7 - 55	3,994	-430	-9.72%
三井住友・株価参照型ファンド2008 - 8	6,409	-690	-9.72%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 02	4,335	-466	-9.71%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 4 - 春のひだまり	4,070	-436	-9.68%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 4 - 春のおとずれ	4,044	-433	-9.67%
条件付元本確保型収益分配ファンド2007 - 6	4,099	-438	-9.65%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 7 - 110	4,538	-484	-9.64%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 12	4,214	-448	-9.61%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 11 - 115 / 110	4,437	-468	-9.54%
インカム追求型株式投信0706	4,403	-464	-9.53%
インカム追求型株式投信0709	4,834	-506	-9.48%
三井住友・株価参照型ファンド2008 - 5	6,297	-653	-9.40%
インカム追求型株式投信0707	4,490	-465	-9.38%
インカム追求型株式投信0705	4,506	-466	-9.37%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 10 - 105	4,599	-473	-9.33%
三井住友・株価指数参照ファンド2008 - 05	5,889	-594	-9.16%

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社で作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率(%)
条件付元本確保型収益分配F(ステップアップ型)2007-2	4,384	-438	-9.08%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-06	4,228	-421	-9.06%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-100	4,826	-473	-8.93%
三井住友・インカム確保型株価参照ファンド07-06	4,574	-442	-8.81%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-10	4,655	-442	-8.67%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-03	6,539	-618	-8.63%
三井住友・株価参照ファンド2007-12	5,462	-515	-8.62%
条件付元本確保型ステップアップ収益分配ファンド2007-6	4,928	-460	-8.54%
三井住友・株価参照ファンド2008-03	6,516	-589	-8.29%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-110	5,076	-449	-8.13%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-09	6,745	-596	-8.12%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-08	6,589	-582	-8.12%
三井住友・バリューストック年金ファンド	6,479	-569	-8.07%
メイプル ジャパンオープン	2,857	-243	-7.84%
システム リバランス オープン	4,404	-372	-7.79%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-三色すみれ	5,092	-429	-7.77%
条件付元本確保型ステップアップ収益分配ファンド2007-3	5,226	-439	-7.75%
三井住友・ハイ・シェアーズ・オープン	4,700	-389	-7.64%
三井住友・日本株式年金ファンド	4,312	-356	-7.63%
三井住友・日本株グロース・オープン	2,108	-174	-7.62%
コスモ「新時代」日本株ファンド	4,312	-354	-7.59%
三井住友・DC国内株式アクティブS	6,851	-559	-7.54%
三井住友・日本株・競争力ファンド	3,938	-315	-7.41%
三井住友・日本株・成長力ファンド	4,085	-321	-7.29%
三井住友・ライフビュー・日本株式ファンド	5,004	-388	-7.20%
ちば興銀株価指数参照ファンド2008-9	7,059	-545	-7.17%
ウツミ屋 日本株ファンド「あゆみ」	4,899	-373	-7.08%
リサーチ&トレンド・オープン	3,270	-245	-6.97%
三井住友・フォーカス・ジャパン・オープン	4,707	-348	-6.88%
三井住友・アクティブ・オープン	2,892	-212	-6.83%
三井住友・日本株Newバリューストックオープン	5,858	-418	-6.66%
三井住友・げんきシニアライフ・オープン	4,623	-324	-6.55%
21世紀ファンド	3,544	-238	-6.29%
三井住友・NEO(ネオ)ファンド	2,765	-178	-6.05%
三井住友・日本株オープン	5,332	-343	-6.04%
シナプス	3,029	-194	-6.02%
三井住友・株式アナライザー・オープン	3,755	-240	-6.01%
三井住友・ダブル・バリューストック・ファンド	4,839	-301	-5.86%
日本生活成長株式ファンド	7,535	-465	-5.81%
三井住友・アジア4大成長国オープン	4,018	-214	-5.06%

10月24日の基準価額は、外国の株式・債券・リート等に投資するファンドの場合、10月23日時点の株式等組入れ資産の各市場での終値を、10月24日の為替レート(日本時間午前10時頃の為替レート(TTM))で円換算し算出しております。

(1) 基準価額の変動要因について

(国内株式市場)

24日の国内株式市場は日経平均株価指数で前日比-9.6%、TOPIX(東証一部株価指数)は-7.5%と大幅に下落しました。日経平均の終値は7649.08円と、1980年代後半のバブル経済崩壊後の最安値

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

7607.88 円（2003 年 4 月）以来の水準にまで落ち込みました。前日の海外市場で円高が急速に進んでいたこと、ソニーが今年度業績を大幅に下方修正したこと等が切っ掛けとなり、外需関連企業を中心にほぼ全面安となりました。

リーマン・ブラザーズ・ホールディングスの経営破綻以降、下落が続いていた株式市場は、金融安定化対策への期待から 10 日に一旦ボトムをつけたものの、その後は実体経済の悪化懸念が優勢となり、下値を切り下げる状況となりました。

日本の株式市場動向

国	株式指数	終値	騰落率
日本	TOPIX	806.11	-7.52%
	日経平均株価	7,649.08	-9.60%

終値:10月24日 騰落率:10月23日比

(出所)Bloombergなどのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(2) 今後の見通し

(国内株式市場)

米国における金融安定化法、G7 行動計画、それに沿った金融機関への資本注入策の発表などに対する市場の反応は概ね好意的であったものの、世界的な景気悪化の底が予想し難い状況下、リスク資産圧縮による売り圧力は依然強く、短期的な下値不安は拭えない状況です。

今後のポイントは、世界的な景気減速に対して各国が打ち出す景気対策の内容と実効性を見極めること、更に実体経済と企業業績がどの程度悪化に向かい、株式市場はそれを何時どの水準で消化するのが重要と考えます。

来年前半までは欧米各国が景気後退局面にあることや、新興国の需要減速が続くことにより、国内経済も軟調に推移することを見通します。企業業績も総じて下方修正基調にあることから、株式市場は当面下振れリスクを伴いながら不安定な展開が想定されます。来年後半には、米国住宅価格の下げ止まりや、金融機関の融資厳格化による経済活動を抑制する力も緩和に向かい、世界的に景気は底打ちから緩やかながらも回復に転じる見通しです。株式市場は景気に先行する傾向があるため、来年前半には徐々に下値を切り上げる可能性が高いと見ています。

以上